

「ガールスカウト・丸和 早生樹の森」植樹祭（第3回）

林野庁 関東森林管理局 千葉森林管理事務所

協定締結による国民参加の森づくり活動の取組みとして、令和3年度に千葉森林管理事務所管内の君津市戸崎国有林に設定されたモデルプロジェクトの森「ガールスカウト・丸和 早生樹の森」において、第3回目の植樹活動が令和5年5月28日（日）に実施されました。



して協定が締結されました。

「ガールスカウト・丸和 早生樹の森」は、令和3年4月26日に国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター、ガールスカウト千葉市協議会及び有限会社 丸和建材社と関東森林管理局との間で、低コストで早期に緑化が図られる「早生樹の森づくり」の植栽・保護・保育等の活動及び試験研究（共同研究）の取組が円滑に実施されることを目的として協定が締結されました。

植樹にあたって、事前に有限会社 丸和建材社が地拵を行い、獣害防護柵を設置するとともに、当日使用するテント、簡易トイレなどを設置しました。

また、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センターにより植栽本数毎に植樹間隔の点付け作業などが前日までに行われました。



（有限会社 丸和建材社による地拵作業後）



（国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センターによる点付け）

植樹当日は、ガールスカウト千葉県協議会から 40 名のスカウト及び保護者が参加し植樹しました。今回は、成長の早い樹種の中から、漢方薬として古くから利用されてきた「キハダ」、中国原産で赤みを帯びた材が特徴の「チャンチン」の 2 種類 450 本を植樹しました。



(国立研究開発法人 森林研究・機構
森林総合研究所 林木育種センター
による植樹の説明)

(ガールスカウト千葉県協議会による植樹の様子)

植樹作業の際、ガールスカウトの子供たちは手袋をつけてシャベルで土を掘りながら 1 本ずつ丁寧に苗木を植えました。事前の準備作業により、スムーズに植樹を行うことができました。

植樹後は、隣接する区域に一昨年植えた「コウヨウザン」、「センダン」、「ユリノキ」の早生樹などの説明を国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センターの倉本保存評価課長から説明してもらいました。



(早生樹の説明の様子)

(みんなで集合写真)

日差しの照りつける少し暑い気候の中で植樹が行われましたが、怪我もなく無事に楽しく終えることができ、ガールスカウトの子供たちからは、「木を植えるのは楽しかった」、「数年後には自分より高くなっていそうだ」、「またこのような機会があれば参加したい」などの感想を聞くことができました。

今後とも今回の取組みのように、森林のもつ多様で豊かな自然環境、森林・林業に関してさらに多くの関係者が関心をもってもらえるよう、国民参加の森づくり活動をこれからも取り組んでまいります。